



開政クラブ 板倉 操 議員

- 1 市民の暮らしを守る行政運営について
- 2 男女共同参画を推進する行政について
- 3 公共施設マネジメント白書の作成

質問1(1) 市民の暮らしは厳しくなる一方で、就学援助費や生活保護、中小企業への融資支援等の認定数も増えるばかりである。市独自の雇用や低利・長期の融資支援が必要であると思うがどうか。

答弁1(1) 市民の暮らしの厳しさは十分認識している。国や県の支援策を引き続き丁寧にやっていく。

質問1(2) 国の税制改正は増税の要素が強く、その上低所得者ほどきつい消費税の導入も計画されている。市民の暮らしを守る上でも国に意見を上げる必要を強く感じるがどうか。

答弁1(2) 市民の暮らしを守るために国に意見を上げて

いく考えは同じである。市長会を通じ、また個人でも国や与党の戦略会議を通じて意見を上げていく。その事の重要性は十分感じている。

質問2 男女共同参画を更に進める上で、拠点施設のジェフリーすずかを再構築する必要があると考えている。開館十周年の機会にどのようなお考えか。

答弁2 十分役割を果たし切っていないことも事実だ。今までの経験の上に今後、市民のニーズ、各団体との効果的な連携・協働をコーディネートし、実践的な活動を進めていくよう努めたい。

質問3 公共施設の計画的な整備、維持管理費の低減等の実態調査をし可視化するものだが考えは。

答弁3 まず効率的に施設を管理する施設管理手法の導入について検討していきたい。



市民クラブ 大西 克美 議員

- 1 施政方針について

質問1(1) 市長の目指すまちづくりとはどのようなものか。

答弁1(1) 鈴鹿市を元気で魅力あふれるまちにしていくために3つのまちづくりを考えている。1つは、「住みやすさを実感できる安全で安心なまち」で、災害に強いまちづくりや防犯・交通安全対策等の危機管理をしっかり行いたい。2つ目は「健康で暮らせるまち」で、子育て支援施策の充実や、医療・健康・福祉施策の推進等を行いたい。3つ目は「躍動する都市として活力を創りだすまち」で、

都市基盤整備の推進や、産業振興といった地域産業全体の活性化に取り組みたい。

質問1(2) どのような新規事業に取り組むのか。

答弁1(2) 救急情報ネックレスの配布、鼓ヶ浦小学校に外付け階段と屋上手すりの設置、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の費用助成、子ども医療費の助成拡大等に取り組む。

質問1(3) 適正な財源確保については、どのように考えているか。

答弁1(3) 税収の確保が重要であると考えている。これまでも国税徴収法に基づき公平で公正な徴収業務に取り組み、滞納者に対しては納税相談を実施してきた。今後も徴収方法の再検討や滞納繰越金額の縮減に向け、一層努力していきたい。



リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

- 1 財政運営の基本的な姿勢について
- 2 安定した収入の確保について
 - (1) 新たな産業分野の振興についての考え方
 - (2) 予算で「種」としたもののうち、産業の活性化に繋がるものについて

質問1 財政調整基金のあり方も含めて、財政運営の基本的な姿勢、考え方について。

答弁1 安定した収入の確保、効率的・効果的で計画的な支出を心がけている。将来の不測の事態にも備えた財政調整基金の残高の確保を図ると共に、将来の財政負担を出来る限り少なくするための市債の残高抑制により財政規律を維持していく。

質問2(1) 継続的に市税の増収に繋げていくための新たな分野の産業振興について。

答弁2(1) 医療や介護、健康の分野について、総合特区制度を活用した地域活性化策が県で検討されている。今後県と連携を図りながら調査、研究をしていきたい。

質問2(2) 「種」としたもののうち、産業の活性化に繋がるものについて、それらの成果をどのように期待しているのか。

答弁2(2) 産業の活性化として、住宅リフォーム、学校給食センター、次世代産業育成支援事業や道路の整備などがある。景気の活性化、需要の掘り起こし、雇用の創出また次世代産業の多面的な集積を期待し、持続可能な都市をつくりあげて行く事が出来ればと考える。